

一六世紀イングランド農村の 資本主義発展構造

大阪経済大学日本経済史研究所研究叢書⑱

2011年6月刊行

松村 幸一 著

定価 14,700円 (税5%込)

A5判・660頁 ISBN978-4-7842-1575-1

故・松村幸一氏(大阪経済大学名誉教授)は、膨大な数にのぼる、16世紀イングランド農村における資本主義発展に関する論文を書き残されたが、2008年2月享年78歳で逝去され、その業績は分散したままになっていた。本書は、そのうち主要な論文をまとめた一書。戦後の大塚史学と、イギリス資本主義を含む各国資本主義の類型をめぐって激しく論争した中で生まれた諸論考を2部構成で収録。巻末に参考文献と索引を付した。

内容目次

はじめに (武 暢夫)

第Ⅰ部 イングランドの農業資本主義化をめぐる二つの対抗

- 第1章 「ケットの反乱」について——本源的蓄積期の農民闘争——
- 第2章 封建制から資本主義への移行の形態——第一次困いこみ運動を中心として——
- 第3章 イングランド東部の農業ブルジョア化をめぐる二つの対抗

第Ⅱ部 イングランド農村構造——農民層分解を中心として——

- 第4章 サセックス臨時税課税簿(一五二四～二五年)の分析
——一六世紀初頭イギリスにおける農業ブルジョア化との関連において——
- 第5章 バッキンガムシア臨時税課税簿(一五二四～二五年)の分析
- 第6章 ノーファク州ギャロウ郡臨時税課税簿の分析
- 第7章 レスタシア・ガスラクストン郡の諸階層とその動向
- 第8章 サファク州臨時税課税簿(一五二四～二五年)の分析
- 第9章 サファク州ベイバー郡の軍役調査記録(一五二二年)について
- 第10章 サファク州における民衆運動

あとがき (尾崎芳治・本多三郎)

文献一覧

索引 (用語/人名)

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)
冊数	冊	一六世紀イングランド農村の資本主義発展構造 本体14,000円(税別) ISBN978-4-7842-1575-1		
お名前	tel			
	e-mail			
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)			書店番線印

※「王国」と「植民地」近世イギリス帝国のなかのアイランド

山本正著 大阪経済大学日本経済史研究所研究叢書⑫
 「王国」にして「植民地」—アイランドのイギリス帝国におけるこの両義性は、近代国家イギリスの他に類をみない特異なありようを示している。本書は、16～18世紀におけるアイランドのイギリスとの複雑な関係を最新の研究動向を踏まえつつ丹念に分析し、その位置づけと変遷にとりくんだ著者20年来の成果。

▶A5判・236頁/定価2,940円 ISBN4-7842-1096-2

経済史再考

徳永光俊・本多三郎編

大阪経済大学日本経済史研究所開所70周年記念論文集。
 【執筆著】網野善彦/大島真理夫/徳永光俊/渡部武/山本正/角山榮/真栗平昭昭/作道洋太郎/楠本美智子/藤本隆士/上村雅洋/渡邊忠司/秀村謙三/家近良樹/木山実/後藤正明/山田雄久/瀬岡誠/藤田貞一郎/阿部武司/野田公夫/松村幸一/佐村明知 ほか

▶A5判・630頁/定価12,600円 ISBN4-7842-1153-5

武士と騎士 日欧比較中近世史の研究

小島道裕編

人間文化研究機構連携研究「武士関係資料の総合化」の一環として、日仏で行われた国際シンポジウムの成果。多様な側面から武士と騎士をとりあげた論考19本を収録。【内容】西欧中世における貴族・騎士と封建制/日欧甲冑比較論序説/出陣図屏風に描かれた近世軍制/日欧城郭比較論/中近世武家書札の文化史/旧幕臣と武士道 ほか

▶A5判・512頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1507-2

王権と都市

今谷明編

王権と都市の関連を検討する研究は、イブン=ハルドゥーンの問題提起以来、一部の例外を除けば理論的發展を欠き、地域的に偏りもあつた。本書は日本、アジア・イスラーム、ヨーロッパの3領域から11篇の論文を収め、各時代・各地域での都市史のあり方を相互に比較検討し、「都市とは何か」という命題の解明に挑んだ一書。

▶A5判・372頁/定価7,140円 ISBN978-4-7842-1396-2

東アジア経済史研究 第一集 中国・韓国・日本・琉球の交流

大阪経済大学日本経済史研究所編 大阪経済大学日本経済史研究所研究叢書⑪
 日本における研究を発信するだけでなく、世界、アジアにおける研究情報を系統的に取り込み、データベース化し国際的な研究の発展と交流を目指して行われた第1回東アジア経済史研究会「近世・近代の東アジア経済史研究」。本書は、その報告を基にした10篇を収録し、東アジア史研究のさらなる発展の芽を宿すものである。

▶A5判・344頁/定価4,200円 ISBN978-4-7842-1498-3

近世東アジア海域の文化交流

松浦章著

海によって隔てられた東アジア諸地域間の交流は、波濤を越えた船の往来によって支えられていた。本書は清代帆船やその後に登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を明らかにする。

▶A5判・472頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1538-6

畿内の豪農経営と地域社会

渡辺尚志編

18世紀末以降、河内国丹南郡岡村(現藤井寺市)の庄屋を世襲し、豪農・地方名望家である岡田家。近世・近代において同家が作成・授受した「岡田家文書」は、1万数千点にもおよび、近年整理が進められている。岡田家文書を多角的に分析し、畿内における村落と豪農の特質を経済・社会構造の観点から解明する。

▶A5判・508頁/定価8,190円 ISBN978-4-7842-1385-6

伝統産業の成立と発展 播州三木金物の事例

桑田優著

兵庫県三木市の伝統産業、三木金物は近世後期に勃興し、現在にいたっている。本書は、流通機構の発達など社会的な背景にも着目し、三木金物が特産品として全国市場へ進出してゆく過程を跡付ける通史である。【内容】近世後期における在郷町の変貌/金物仲買問屋と鍛冶職人/播州三木町の切手会所/三木町金物仲買問屋の経営 ほか

▶A5判・302頁/定価6,825円 ISBN978-4-7842-1523-2

公家と武家シリーズ [全5冊]

国際日本文化研究センターで行われた公家(貴族)と武家に焦点を合わせた共同研究の成果シリーズ。武士層が成長した地域と、文官支配が優越した地域との差異に着目。前近代社会における支配エリートであったそれらの身分や職能のもつ意味、その秩序の形式、社会的役割といったものを多角的に検討した論集。



IV 官僚制と封建制の比較文明的考察

笠谷和比古 編

ISBN978-4-7842-1389-4
 ▶A5判・544頁/定価8,925円

III 王権と儀礼の比較文明的考察

笠谷和比古 編

ISBN4-7842-1322-8
 ▶A5判・458頁/定価8,190円

II 「家」の比較文明的考察

笠谷和比古 編

ISBN4-7842-1019-9
 ▶A5判・530頁/定価9,870円

I その比較文明的考察

村井康彦 編

ISBN4-7842-0891-7
 ▶A5判・444頁/定価8,190円

国際シンポジウム 公家と武家の比較文明史

笠谷和比古 編

ISBN4-7842-1256-6
 ▶A5判・490頁/定価8,400円

青島の都市形成史:1897-1945

樂玉璽著

市場経済の形成と展開

青島がドイツ・日本との間に持った経済関係や、その関係が築かれた歴史的要因、青島の経済発展の過程や特徴、さらに青島が全中国へ与えた影響を解明。日中両国の広範な資料を用いることにより、詳細かつ中立的・客観的な立場での考察を試みる。

▶A5判・364頁/定価7,140円 ISBN978-4-7842-1453-2

黒正巖著作集 [全7巻]

黒正巖著作集編集委員会編

全7巻構成で1920～40年代に展開された黒正史学の全貌を明らかにする。黒正巖は、日本におけるマックス・ウェーバーの紹介者であり、当時流行のマルクス主義経済史学と一線を画し、官学アカデミズムにとらわれない研究を展開、地理的空間の重要性に着目した「経済地理学の研究」など、先見性と革新性にとんだ業績を残した。

▶A5判・総2,800頁/定価58,800円 ISBN4-7842-1122-5

近世の環境と開発

根岸茂夫・大友一雄・佐藤孝之・末岡照啓編

環境問題が議論される中でしばしば近世の環境や生活が理想的に論じられる。はたしてそれは事実なのか。江戸時代の現実に沿って、村落・河川・山野・鉱山を題材に、環境と開発の問題について改めて問い直す論文集。2003年急逝された大谷貞夫國學院大学文学部教授の長年取り組まれた江戸時代の治水と新田開発問題を継承する。

▶A5判・366頁/定価7,875円 ISBN978-4-7842-1544-7

日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

明治維新以降、めざましい発展を遂げてきた近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を跡づけ、日本の産業技術史を俯瞰する「読む事典」。
 【大項目】道具/機械/素材(木材・石・鉄)/人工の素材/産銅業/石炭産業/動力と動力システム/鉄道と船/航空機と自動車/情報・通信/生産技術/農業・林業・漁業/食品加工業/繊維と衣服 ほか

▶B5判・550頁/定価12,600円 ISBN978-4-7842-1345-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。